

---

◎町長行政報告

○議長（渡辺文彦君） 日程第4、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申し出がありますので、これを許します。

（町長 長嶋精一君 登壇）

○町長（長嶋精一君） 令和3年松崎町議会第3回定例会の開会にあたり、謹んで行政報告を申し上げます。

まず冒頭ではありますが、この夏の異常気象により全国各地で甚大な被害が多く起こりました。とりわけ、7月の大雨により発生した熱海市の土石流災害で尊い命をなくされました方々に対し、心より哀悼の意を表しますとともに、被災地域の一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、この中で迎えた東京オリンピックパラリンピックも無事閉会し、期間中日本人選手の活躍に大きな勇気と希望を与えていただきました。一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらず、静岡県を含め全国21都道府県に大使緊急事態宣言が発令されております。

町といたしましては、引き続き新型講座をレースの感染防止を徹底的に行い、町内から感染者を出さないよう、改めて町民の皆様には手指消毒マスクの着用、人と人との距離の確保3密は例え1密でも避ける。などの感染予防対策をお願いいたします。また、この中で打撃を受けている町の事業者に対し、事業継続支援や消費歓喜。および、観光振興などの新型コロナウイルス対策事業について、今定例会において補正予算を計上をいたしました。

それでは、最近の町政の動向について報告をいたします。松崎町では、感染防止と社会経済活動の両立を図るため、この夏町内4ヶ所の海水浴場を開設いたしました。それぞれの海水浴場では、ライフセーバーを配置し、感染防止対策を徹底し大きな事故もなく、夏季シーズンを終えることができました。町内事業所の皆様は、ガイドラインに沿った感染防止対策を徹底していただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

次に、コロナワクチン接種についてでございます。65歳以上と希望する方の接種につきましてはすでに予定通り終了し、現在64歳以下で希望する方の接種を行っております。今月中には、希望する方全員の集団接種が完了する予定であります。当初から、医師の確保などの課題はございましたが、医療従事者の皆様をはじめ関係者の皆様のご協力により円滑に実施できましたことに、厚く御礼を申し上げます。

本日は町観光施設の入館状況について他3件についてご報告いたします。詳細は担当課長よ

り申し上げます。

○企画観光課長（深澤準弥君） 企画観光課から3件の行政報告をさせていただきます。

町観光施設の入館状況につきまして、まず初めに資料No. 1により報告させていただきます。1ページをお願いいたします。伊豆まつざき荘でございますが、右側の7月までの累計の比較でご説明させていただきます。宿泊利用人員は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、首都圏の緊急事態宣言の期間が延長となったことに加えて、町内で発生したクラスターの濃厚接触者等の受け入れのために、6月17日から7月8日まで臨時休館としたことにより、宿泊予約のキャンセルや、新契約の入れ込みが減少し3,483名となりました。収益については、昨年は4月13日から7月9日まで臨時休館としたこともあり、3,300飛んで20万円増の4,924万9千円となりました。費用については、減価償却費の減少はあるものの営業日数の増加による費用増により、1,427万5千円増の5,659万7千円となりました。これにより差し引き損益は、1,874万5千円となりました。

続きまして2ページをご覧ください。長八美術館につきましては、入館者数2,092人で昨年に比べ541人の増、収入は32万9千円増の98万8千円となりましたが、収支差額につきましては、マイナス343万8千円となりました。昨年に比べ、入館者増となりましたが、首都圏の新型コロナウイルス感染症が増加傾向にあり、緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置が発令され、来館者が減少傾向にございます。このような中ですが、県東部の中学校の入館、安曇中学校修学旅行生の絵児玉体験や、松中、西伊豆中合同の『西伊豆を体験しよう』などの学校教育との連携事業は実施されました。

重文岩科学校は、入館者数1,748人で、昨年に比べ750人の増、収入は68万4千円の増で、158万円。収支差額については252万円となりました。重文につきましても、コロナの影響は大きく、入館者数の減少は避けられない状況でございます。SBSラジオのクローズアップマイタウンに電話出演したりしたため、県内からの来館者が増えたことは、功を奏したと思っております。開花亭においては、新たなふるさと納税返礼品として松崎特産品セット等を新しく登録しまして、早速種類の申し込みがあり、今後申し込み件数の増加に期待をしているところでございます。

3ページをご覧ください。旧依田邸、依田之庄につきましてです。旧依田邸母屋への入館者数は、1日平均12名ほどで推移してございます。菰山高校等の来館も7月2日大雨の日にも関わらず、施設見学に40人ほど訪れていただきました。また、依田之庄の入力者数については、1日平均60名で、7月末における町内・町外の比率は、町外の方がやや多い傾向となっております。

ます。設備面では、高圧電力から低圧電力への切り替え工事を行ったため、電気料金の削減に繋がると思われます。今後は、半夏生の新聞掲載のように情報提供を活発にし、集客に努めてまいります。

道の駅花の三聖苑でございます。利用人員は、収入の前年度比増加は営業日数の違いによるもので、他施設同様コロナ前に比べると低調でございます。特に売店商品や地場製品の品薄が重なり、なかなか売り上げに結び付かない状況が続いております。閑散期における人員配置等見直し賃金と支出の軽減を測っております。今後、地場産品が年間を通して手に入りやすくなるように工夫してまいります。

7月末までの累計は全ての施設において利用者が増となっておりますが、昨年が休館しているの比較になるものですから、まだまだ厳しい状況が続いておるには変わりございません。新型コロナウイルス感染症の早い終息を祈りつつ、コロナ後を見据えた誘客をを探っております。

以上、資料No. 1の町観光施設の入館状況についての報告とさせていただきます。

引き続き行政報告2番松崎町総合計画の令和2年度事業評価について、資料No. 2によりまして説明いたします。

総合計画は、町政の最上位に位置づけられる計画で、松崎町が行う町づくりの全般的な計画になります。平成30年2月に策定した後期基本計画では、実施事業の評価検証を毎年度行い、プラン、ドゥ、チェック、アクションのPDCAを確立し、計画を推進することを明確に位置づけました。この評価検証につきまして、役場内部の庁内会議での庁内評価、そして総合計画委員会で、民間の視点を加えた形での評価を行っていただくこととなっております。

1ページ目をご覧ください。令和2年度事業の事業評価について、政策の評価を集計した表になっております。総合計画では、町の将来像を6つの分野に定め、調整の発展に取り組んでいます。資料の見方でございますが、1ページ目と3ページ目を見比べていただき、まず3ページ以降の一番左側の施策の大綱が1、2ページの6分野となっております。3ページに戻りまして、政策主な取り組み実施内容と続きまして、町内の評価の欄の○とか△の集計が1ページ上段となっております。その後、効果課題と続きまして、今後の取り組みのところの充実・継続というのが1ページの下段、そして、右から3番目の項目の目標値との比較の△と×がその集計が2ページ目となっております。1ページ目ですが、6つの分野の85事業の評価を行った結果となっております。

下段をお願いいたします。今後の取り組みとしましては、継続は60事業と約7割を占めてございます。2ページをお願いいたします。この表は目標指数に対する評価となります。目標指数に掲げてている55事業のうちの目標値が、○、◎の改善された事業が21%改善がされなかった事業は20、21事業です。改善がされなかった事業は21事業で、38.2%となっております。3ページをご覧ください。ここからが各事業の実施内容、効果、課題今後の取り組み目標値の比較を掲載しています。昨年と変更のない項目などは省略させていただき、主な箇所のみ説明をさせていただきます。

施策1の観光振興につきましては、ホテルを活用した誘客、前年度に引き続き環境整備は受け入れ体制の準備等しましたが、新型コロナのためグリーンツーリズム等については、なかなか実施することができなかつたとなっております。

道の駅、旧依田邸の整備につきましては、依田之庄の改修工事、備品整備等を行い、令和2年12月にオープンをいたしました。

施策2の農林漁業の振興につきましては、棚田の関係で棚田地域振興法に基づく指定棚田地域への指定を受け、石部棚田振興協議会を立ち上げまして、活動計画を定めたところでございます。これまでも、よりもより多くの方が関われる体制作りが図られました。

施策3の商工業の振興につきましては、商工会へのコロナウイルス対策の補助事業を含め各種事業を実施しました。これは国の新型コロナ感染症臨時交付金を活用したもので、具体的には、事業所支援やプレミアム商品券などの実施を行ったところです。

政策4の地域資源の活用につきましては、商工会等が行うブランド認定事業の支援を行い、今年度も認定数が事業所等の廃業によって減ったものの丸高農園さんの『栄久ぼんかんストレートジュース』等の新規認定がございました。

4ページをお願いいたします。こちらは大綱になってございます。2の『健やか安心暮らせる福祉のまちづくり』についてでございます。こちらは地域福祉の充実の買い物に不自由な人の支援については、昨年同様支援事業の実証実験を行い、高齢者等の外出等を大きく貢献し、実証実験については終了しましたが、今年度本稼動として委託業者等増やし、外出を支援してございます。

高齢者福祉の充実につきましては、介護予防の促進、健康運動教室や、健康アップ講座などの実施を予定しておりましたが、新型コロナウイルスによりなかなか回数が実施できなかった現状がでございます。今後も感染症対策をしながら、事業継続してまいる所存です。

5ページ目をお願いいたします。中段からの施策3防災防犯対策が充実した安全なまち作

りです。こちらにつきましては、防災意識の高揚で土砂災害、洪水ハザードマップの作成を実施し、災害への備えや想定される災害情報を住民に向けて周知するとともに対応等について協議をしてきたところでございます。先ほどもありました通り、全国各地で様々な災害がある中で、自分たちがどこの場所に住んでいて、どのような危険にさらされているのかを自覚するための一助となったと思っております。今後は、避難計画の策定や避難所の運営など、自助共助を強化してまいるところでございます。

6ページをお願いいたします。こちらにつきましては景観作りの推進ということで、長年の課題であった景観計画を策定いたしました。景観条例を策定し、景観法に基づいた取り組みを行いまして、松崎町の商人特色でございます『なまこ壁建造物』の補助制度など、景観作りや景観保全政策を進めてまいるところでございます。

道路網の整備につきましては、松崎新港への駿河湾フェリーの接岸トライアル等の事業を実施し、今後そういった新しい交通を誘致してまいるところでございます。積極的に県、国への要望をしていく所存でございます。

7ページをお願いいたします。未来を担う人材を育むまち作りでございます。ここは特にコロナの影響を大きく受け、生涯学習や文化イベント、スポーツレクリエーションの事業がほとんど実施できない状況でございました。今後、やはり引き続き感染予防対策をしっかりとしながら、そういった事業を進めていく所存でございます。

学校教育の現場においては、パソコンの1人1台のGIGAスクール構想におきまして、配布いたしまして通信環境等の整備も実施し、子供たちの教育環境を整備したところでございます。

8ページ目をお願いいたします。『多様な主体により共同で進めるまちづくり』は、広域行政や地域交流の推進、姉妹都市交流の促進といった事業になりますが、やはりコロナの影響を受けまして、実施ができなかったことが多いところでございます。

最後の3広域行政地域交流の推進、健全な財政運営の部分でございます。財政の弾力性を示す経常収支比率は改善しているものの、目標にはまだ達してございませんが、実質公債費比率、将来負担比率はいずれも健全基準内の数値となっております。

9ページをご覧ください。こちらは後期計画に挙げた取り組み状況になってございます。買い物に不自由な人の支援につきましては、買い物タクシー実証実験として行ってございます。今後は福祉事業者が複数事業者における実施における問題点などを解決し、より使いやすい事業として、福祉タクシー券交付事業との統一等についても検討してまいります。

2の順天堂静岡病院の直通バスの運行につきましては、平成31年4月25日から10月31日まで。乗り合いタクシーによる実証実験を行いました。通院の利便性向上に対してのニーズはありますが、それぞれのライフスタイルにおけるマッチングが難しく、通院方法を自家用車からバスに移行する方の見込みも少ないと思われ、この事業については令和元年度で終了とし、今後は住民の皆様のニーズを深掘りし、近隣市町との共同運行などを検討してまいります。

3診療所の誘致につきましては、工事延期の決議を受けまして今後は診療所建設への理解、地域医療振興協会等の会員に向けての調整、指定管理の検討調整など準備を進めてまいります。

4の子育て支援の充実につきましては、引き続き出産祝い金の支給、出産準備支給祝い品支給などを継続して行ってまいりました。今後も子育て世代のニーズに合った事業を検討してまいります。

10ページをご覧ください。5の桜葉産業の振興につきましては、支援学校の研修等の活用のためほ場整備を行い、伊豆松崎町桜葉振興会と連携し支援学校の生徒に育苗や葉の収穫、まるけ、枝払いなど桜葉生産に係る研修を実施したところでございます。桜葉の出荷、漬ける方法の見直し、支援学校の生徒が参画できる分野の検討、種子および挿し木などによる育苗技術の向上などの課題がございますが、今後も関係者と課題把握、検討を行ってまいります。

最後の6の道の駅及び旧依田邸の整備活用につきましては、道の駅の整備改修につきましては休止状態にあり、新型コロナウイルス感染症の関係もありまして取り組めてございません。旧依田邸の温泉施設につきましては、改修工事備品整備を行い令和2年12月にオープンしたところでございます。今後は、道の駅について住民議会との合意形成を図り、整備を推進してまいりたいと思います。旧依田邸につきましては、文化財保存修繕に取り込むとともに、依田之庄の方と併せ、健全経営に努めてまいります。

かなり雑駁な説明となってしまいましたが、以上で総合計画の評価の説明を終了とさせていただきます。

引き続きまして、総合戦略の令和2年度事業の事業評価について、資料No. 3により報告させていただきます。

『松崎町まち、ひと、しごと創生総合戦略』は、松崎町第5次総合計画などを考慮に入れた上で、人口減少対策に特化した計画で平成27年からの第1期の計画期間が終了し、第2期

として、令和2年から5年間の計画を策定いたしました。第2期総合戦略においては、『地域経済を強くする循環』『人が活躍し人を呼び込む循環』『子供を育て教育する循環』『健康で安心して暮らす循環』の4つの循環に区分し施策を行ってまいります。なお、総合戦略においては、毎年戦略の策定にありました松崎町日本で最も美しい村推進委員会で検証することとしており、今回は新型コロナウイルス感染症の関係により、書面により委員の方の意見を伺ってございます。

それでは、1ページをお願いいたします。総合戦略において10の基本的な重要業績評価指数KPIに対しての進捗状況になります。1から3の産業就業者数は5年ごとの国勢調査の人口となります。令和2年度に国政調査が行われましたが、まだ確定の数値が公表されていないため、来年度において報告をさせていただくこととなります。

4の『観光客数』は、32万7,650人となりました。年間3%の増加を目標としていますが、新型コロナウイルス感染症等が騒がれ始めた影響もございまして、前年比1.3%減の結果となりました。

5の『宿泊者数』につきましては8万7,329人となり、年間2%の増加を目標としてございますが、こちらも新型コロナ感染症の影響もございまして、前年比5.3%減の結果となりました。

6の『転入者数』につきましては132人となり、年間約1割増を目標としてございますが、前年度と同数となっております。

7の『転出者数』につきましては194人となり、基準値である220人から毎年1%抑制し年200人を目標としており、結果は達成となりましたが、新型コロナの影響により3月の転出が減少したことが原因と思われます。

8の『起業者数』については、地域おこし協力隊の2名が任期終了後に木工の塾を行う法人を立ち上げていただき2件の起業となりました。

9の『移住者数』につきましては、移住政策への取り組みや新型コロナの影響の背景もございまして、12組17名と目標の7件を大きく上回る結果となりました。

10の『お達者度』につきましては、県内10位以内を目標としてございますが、男性が29位、女性が32位という結果となっております。

次に2ページから5ページにつきましては、4つの項目ごとの令和2年度実施事業における実績内容、効果、課題、今後の取り組みを記載してございます。新型コロナウイルス感染症によりまして、観光振興や関係人口などの事業が制約を受けまして、なかなか厳しい状況

になってございます。主な箇所のみ説明とさせていただきます。はじめに『なまこ壁保存修繕による景観保全と観光振興』です。なまこ壁伝承事業として、以前に施工した場所が傷んできているため、2年度においては中瀬邸のトイレの壁の修繕を行いました。3年度には景観条例を策定し、これに基づいた補助事業の検討実施や民間団体と連携した企画などを検討しております。

スポーツツーリズムの振興についてです。新型コロナウイルスの関係で多くの事業が中止となる中、伊豆トレイルジャーニーを規模の縮小もありましたが、感染症対策を徹底しウィズコロナの中で実施いたしました。感染症の影響により地域経済が低迷している中、西伊豆町と松崎町2町で約600人の宿泊があり、地域経済に寄与し、またふるさと納税においても146件936万円の申し出がございました。

次のページをお願いいたします。特産品、農産物の高付加価値化と販売作品でございます。松崎ブランドとして、先ほど申し上げました丸高農園さんのポンカンストレートジュースを1件新しく認定しました。しかし、認定を受けている事業所の廃業などによりまして、認定数が減少しているという結果となっております。事業者も新型コロナウイルス感染症の対応で、経営が厳しい状況でございますが、商品に付加価値をつけるなど、事業支援に取り組んでまいりたいと思います。

次に、起業化への取り組みです。令和2年3月に協力隊を退任した2名が起業し、木工事業を行う松崎木工塾を設立いたしました。事業所が町内に増えることにより地域活性や新たな松崎の魅力の増加に繋がるような、コロナ禍においても地方に目が向いている中での起業アプローチを継続して行ってまいります。

次のページをお願いいたします。特産品、松崎町での様々な体験を返礼としたふるさと納税でございます。ふるさと納税につきましては、今までもクレジット払いだったものをPayPalなど電子マネー、d払いなどの携帯キャリア払い、コンビニ払いなどの決済方法へも拡大したことにより納税者の利便性を向上させました。事業者に対しても新規返礼品の登録の呼びかけを何度となく行い19件の新規登録がございました。令和3年度においてはポータルサイト返礼品ページのリニューアルを実施しているところでございます。今後もより情報発信を図り、寄付件数、寄付額の増加に向けて取り組んでまいります。

次のページをお願いします。松崎高校の魅力化でございます。松崎高校への単年度の入学者数は前年度より3名減の73名となり、定員80名に対し91%となりました。新型コロナウイルス感染症の関係で事業等に制約がありますが、交流事業などの連携型中高一貫教育や、高

大連携事業などの活用し人材の育成を図ってまいります。人材育成事業については協力隊が、さらなる木工の協力隊がさらなる技術の取得を図っており、木工職人の育成の流れができてございます。

次のページをお願いいたします。買い物等支援の充実です。買い物等支援事業に141名の利用で2,204件の利用件数がありました。3年度から登録事業者を土肥交通の1社だったものを、伊豆バス、松崎ケアタクシーの2社を加えまして利便性の向上を図ります。

次に地域公共交通の充実です。町内運行する自主運行バスタクシーの乗降調査を10月から2月に実施いたしました。引き続き令和3年度にも夏の観光シーズンまで実施したところです。実態を把握した上で、地域のニーズに合った公共交通のあり方を模索してまいります。令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、新たな方法や対策などを模索しながら各種実施していかねばならない厳しい状況となっておりますが、引き続き施策に取り組んでまいります。

以上で私からの報告とさせていただきます。

○生活環境課長（鈴木悟君） それでは生活環境課から行政報告の4番目、公営企業会計令和3年7月末経営状況について報告をさせていただきます。

資料No. 4をお願いいたします。はじめに水道事業会計の方でございます。本年度7月末収益につきましては、営業収益、営業外収益合わせまして①になりますが、3,777万1千円。前年対比17万1千円0.5%の減となっております。7月末現在の有収水量につきましては、24万9,915㎥で、営業用や観光庁は増加したものの、一般用の減少により、前年対比2,719㎥1.1%の減となり、営業収益は前年対比16万7千円。0.4%の減となりました。また予定収益を加えた事業収益の合計は④になりますが、4,156万3千円前年対比28万円0.7%の減となっております。

一方費用の方でございます。営業費用に予定費用を加えた合計は⑦になりますが、3,743万円前年対比255万円6.4%の減となっております。その結果、差引純利益につきましては413万3千円。前年対比227万円。121.8%の増となりました。

続きまして、温泉事業会計でございます。はじめに収益の方でございます。営業収益、営業外収益合わせまして①になりますが、1,644万9千円。前年対比36万6千円。2.2%の減となっております。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策による宿泊業者支援として2施設を追加し、9施設の使用料を減額したことにより、営業収益は前年対比35万8千円2.1%の減となりました。予定収益を加えた事業収益の合計は④になりますが、1,718万1千円。前年対

比36万6千円。2.1%の減となっております。

一方費用の方でございます。営業費用に予定費用を加えた合計は⑦になりますが、1,631万4千円。前年対比12万8千円0.8%の減となっております。その結果、差引純利益につきましては86万7千円前年対比23万8千円。21.5%の減となりました。

水道事業会計、温泉事業会計ともに、使用水量、供給戸数の減少が続いているところでございます。水道事業については収益確保の方策を模索し、温泉事業については、収益確保のため、引き続き新規加入の促進を図っていきたいと考えております。

以上7月末公営企業会計の状況についての報告とさせていただきます。

○議長（渡辺文彦君） 以上で町長の行政報告を終わります。

暫時休憩いたします。

（午前 9時45分）